

U24a 宇宙の誕生過程は空であるか

青島正和

青島正和 宇宙の誕生過程は天文好きにとって大変興味深い課題である。また仏教用語の空や無などが重用されている分野でもある。理趣経は「宇宙の真理」を空の属性である性質や相などで説明している。この手法を用いて本研究は「宇宙の誕生過程」が空か否か検討した。1 理趣経では「宇宙の真理は空である。それは定まった性質がないことに通ずる。それは定まった相がないことにも通ずる。それは定まった目的がないことにも通ずる。宇宙の真理は光り輝いている」とされている。空の属性である、性質、相、目的、光が空を下支えしており、他の空の理論展開にも使用可能なことが想定される。2 宇宙の真理が空なら「宇宙の誕生過程は空であるか」も理論展開できると思える。結論を言えば、五蘊皆空（すべては空）と言われているので空のはずである。3 研究は凡夫の脱煩悩のツールであり、仏のさとりの道（理趣）を説いている理趣経と般若心経の2観法を用いた。成果理趣経と般若心経を用いると、空の成立手順は 空→無→性質→相転移→光輝く→目的のようになる。宇宙誕生後数分後までの属性は順当に決定され空である。しかし38万年後の晴れ上がり前は、光では宇宙が見えなく光輝いていないので空でない。「すべては空」と矛盾する。来年の検討課題である。